

令和7年度 しまねの人づくり大交流会 2025

1 趣 旨

昨年度初めて開催した「しまねの人づくり大交流会」は、県内の多くの「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を意識した取組を進めておられる社会教育人材を中心に、県民会館に158名の参加者を得て開催しました。また、大交流会の日にスタートした「しまねの社会教育人材認証・登録制度」は、この1年で県内183名の社会教育人材の方々の認証・登録につながり、関係者のネットワーク化の推進を担うものへととなりつつあります。

このような取組や制度を通じて、これまで以上に多様な社会教育関係者や地域人材の方々によるつながりづくりの推進や学びの機会を通じた人づくりが進められることで、地域づくりへ向けた新たな芽吹きが感じられ始めています。

さらには、令和2年度から開始された島根大学社会教育主事講習では、この5年間で県内131名の社会教育士が誕生しました。社会教育士の方々は、それぞれの分野で社会教育的の視点を取り入れた取組を進めたり、社会教育主事との協働による動きが見られたりしています。

こうした中、今年度の「しまねの人づくり大交流会」は三瓶青少年交流の家を会場に、昨年度同様「ひらく つながる しまねの人づくり 2.0」をテーマとすることで本交流会の継続性を示すとともに、昨年度以上に多様な社会教育人材の方々に学びの機会を提供し、出会った方々のネットワークのさらなる推進を目指して開催しました。

2 テーマ 「ひらく つながる しまねの人づくり 2.0」

3 日時 令和7年 11月15日(土) 13:00~17:00

11月16日(日) 9:00~12:00

4 会場 国立三瓶青少年交流の家(〒694-0002 島根県大田市山口町山口1638-12)

5 対象 「地域づくりを担う人づくり」に取り組んでおられる方、これから取り組んでみたい方及び関心のある方

- ☐しまね社会教育師及びしまね社会教育サポーター
- ☐社会教育士及び社会教育主事(有資格者を含む)
- ☐県及び各市町村社会教育委員 ☐公民館等職員
- ☐地域学校協働活動関係者 ☐親学ファシリテーター等 家庭教育支援関係者
- ☐学校運営協議会委員 ☐各市町村社会教育担当者
- ☐県及び各市町村関係者(魅力化、地域振興(小さな拠点づくり等)、防災、福祉、産業、環境、医療 等)
- ☐学校教職員、企業、NPO等 社会教育及び社会教育士に関心のある方

6 参加者 172名

7-1 本交流会の様子（1日目）

(1) 開会行事・社会教育人材認証式（13:00～13:30）

主催者を代表して、島根県教育委員会・野津建二教育長が開会の挨拶と、本県独自の社会教育人材認証制度（しまね社会教育師・しまね社会教育サポーター）の認証式として、この1年での登録者を代表して、2名へ認証書・登録書を交付しました。



(2) 基調講演(13:30～15:00)

栃木県立真岡工業高等学校校長 井上昌幸氏に「人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指した社会教育の推進の方向性」を演題として基調講演をしていただきました。講演の途中には、ミニワークも取り入れられ、参加者の主体的な学びを促すことになりました。



(3) 参加者による意見交換（15:15～16:45）

基調講演の感想から始まり、参加者それぞれの取組を紹介し合ったり、自身の思いを語り合ったりと、ワールドカフェ形式で、参加者全体で楽しく意見交換しました。



7-2 本交流会の様子（2日目）

(4) 実践発表(9:00～12:00)

学校、公民館等、地域、民間などの多様なフィールドで展開されている「地域づくりを担う人づくり」に資する実践について、2会場に分かれて合計6実践の発表を行いました。

ひらく つながる しまねの人づくり2.0.

50年後も元気に青原に向け
子どもと大人の相互育ちによる
スタートアップコミュニティに！

オモテのねらい
開校150周年記念を
みんなの力で！

つなぐのねらい
（ビジョン）
つなぐのねらい
子どもと大人も
ともに育つ「青原」

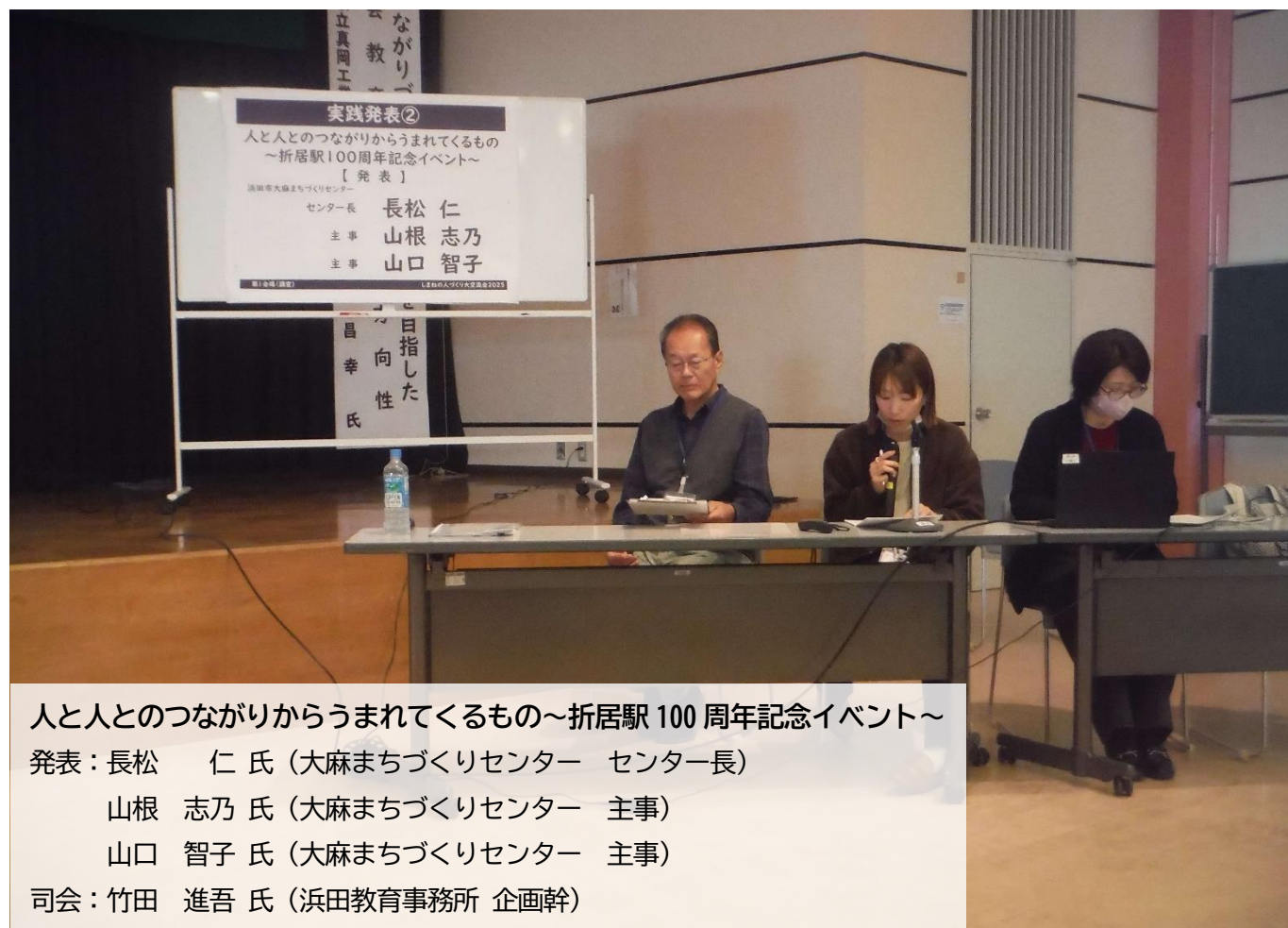
まちで育ち
子ども・大人
育った大人をまち
子どもも育つ

育つまちも育つ
子どもたち

START

実践発表①
青原発！子どもと大人の相互育ち
～青原の新たなCSロードマップ～
【発表者】
中村 守宏 氏
久保田 知乃 氏
永嶺 里志 氏

青原発！子どもと大人の相互育ち～青原の新たなCSロードマップ～
発表：中村 守宏 氏（青原公民館 館長）
久保田知乃 氏（益田市立吉田小学校 教諭）
永嶺 里志 氏（津和野町立青原小学校運営協議会 会長）
司会：佐々木将光 氏（益田教育事務所 企画幹）

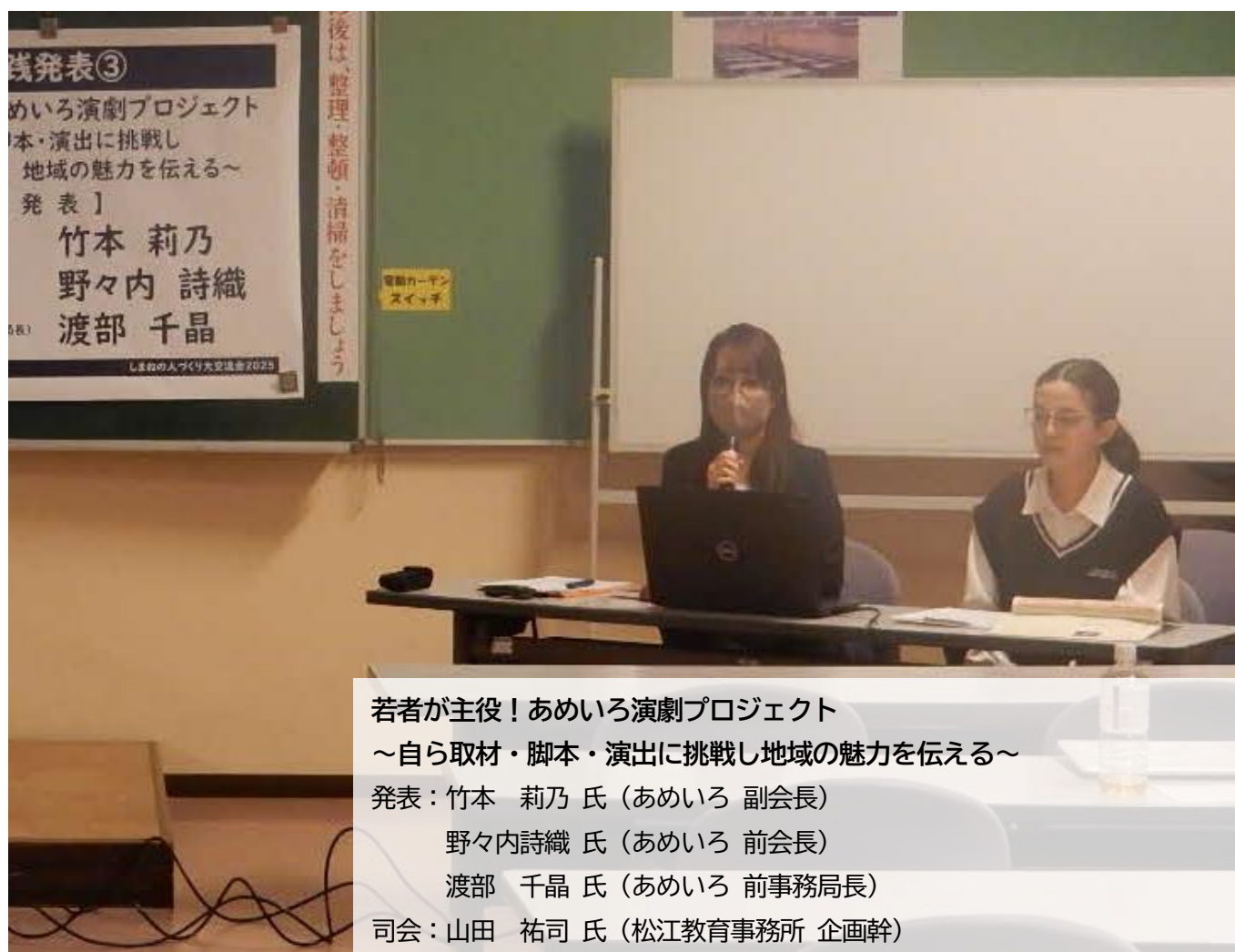




地域おこし協力隊がダンスの先生になって社会教育やってみた！
 ～地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクトからの13年～
 発表：三瓶 裕美 氏 【社会教育士】（つちのと舎代表/（一社）しまね協力隊ネットワーク代表理事）
 司会：高橋 兼造 氏（出雲教育事務所 企画幹）



医療現場でやっちゃえ社会教育～地域・医療存続に懸けるプロジェクト～
 発表：藤井 礼子 氏（隠岐島前病院 職員/西ノ島町社会教育委員）
 隠岐島前高等学校 地域共創科 島前病院魅力化プロジェクトチーム
 司会：稲葉 泰範 氏（隠岐教育事務所 企画幹）



8 参加者感想（一部抜粋）

- ・ 講演や発表等、とても参考になるお話や実践だった。講師の井上先生、どの発表者の方もパワーがあり想いがあふれる素敵な方ばかりで、とても元気をもらえる大交流会だった。参加できてよかった。
- ・ 意見交流の場については、ワールドカフェをやってみて、その場で出会った方々がつながり、仕事に結びつけているところを見て、どの分野の人が集まっても必ずどこかに共通するところ・つながれるきっかけがあるところが、社会教育の面白さだと思った。
- ・ 大交流会という題名であるので、実践発表の後にも意見交換等ができるよかった。
- ・ 多様な方と連携・協働して活動していくための多くのヒントをいただいた。今まで出会ったことがない方と話をすることができて、多様な方とつながりをつくることができた。これからも引き続き、しっかりと話すことをベースに取り組んでいきたいと感じた。
- ・ せっかくの機会なので、もっと多くの方に参加いただけるように、日程調整や会場、周知の仕方などを工夫してもらえるとよいとおもった。
- ・ 意見交流や名刺交換できて良かったです。お互いの今の悩みを聞くことにより、「こうしてみてもは」などと話せし、「こういう悩み解決するように考えておかなければならない」と思ったことなどを、今後に生かしたい。
- ・ 社会教育のたくさんの仲間と出会える、とてもよい時間だった。これからも開催してもらって、多くの実践を交流したり、みんなで楽しく話せたりする機会をつくってもらいたい。

